

## 九州大学共同研究に関する自治体課題抽出シート（記入例）

令和〇〇年〇〇月〇〇日

## 1 提出者

自治体名	〇〇県〇〇市		
担当者	(所属) 〇〇課	(役職) 〇長	(氏名) 〇〇〇〇
電話	092-832-2133	Eメール	kyudaitaro@.....

## 2 課題の内容

分野 (該当するものにチェックしてください)	<input type="checkbox"/> 中心市街地の活性化 <input type="checkbox"/> 都市基盤の整備 <input type="checkbox"/> 公共交通の充実 <input type="checkbox"/> 地域の情報化推進 <input type="checkbox"/> 環境対策 <input type="checkbox"/> 福祉・医療の充実 <input type="checkbox"/> 防災対策 <input type="checkbox"/> 教育の充実 <input type="checkbox"/> 青少年健全育成 <input type="checkbox"/> 生涯学習の推進 <input type="checkbox"/> 歴史・文化の継承 <input type="checkbox"/> スポーツの振興 <input type="checkbox"/> 農林水産業の振興 <input checked="" type="checkbox"/> 商工観光業の活性化 <input type="checkbox"/> 新産業の創出 <input type="checkbox"/> 市民参画の推進 <input type="checkbox"/> 国際交流の推進 <input type="checkbox"/> その他（ ）
課題の概要	本市の観光入込客は、平成〇年度の〇万人をピークに減少へ転じ、平成〇年度には〇万人となっている。 原因としては、本市の〇〇などの資源を活用できていない、情報発信のノウハウ不足、地場企業の環境変化への対応の遅れなどさまざまな理由が挙げられる。 地域産業及び経済の衰退、人口の減少、少子高齢化など長期的な地域課題の一旦にもなっている。
想定される研究内容	ICT技術を用いた市民参画観光マップの作成、観光情報スマホアプリの開発など、教員が所有するICT技術を応用した観光入込客の増加施策の評価・検証を行うとともに、本市における観光入込客の増加施策の実用化を目指す。
期待する効果	ICT技術を活用した観光ツールにより、観光入込客の増加、新たな観光資源の発掘、市民参画の促進、本市の知名度向上などの効果を期待する。
想定される連携先	※すでに課題解決に向けて本学教員との連携を行っている場合や、希望がある場合は連携先をご記入ください。 芸術工学研究院 〇〇〇〇教授
その他の連携先	※すでにその課題解決に向けて関係団体（企業、学校、自治会など）と連携を行っている場合や、予定がある場合は連携先をご記入ください。 〇〇大学、〇〇株式会社